

まつら

NO.96

令和6年2月

佐賀県唐津農林事務所
東松浦農業振興センター
TEL(0955)73-1121
FAX(0955)75-0578



<http://www.pref.saga.lg.jp/web/higashifukyu>
※東松浦農業振興センターホームページ



堀田 尚宏さん
(29歳)



「農業から生み出す幸せ」

唐津・東松浦地区4Hクラブ前会長の「堀田尚宏」さんをご紹介します。

農業を始めるにあたって「人とのつながり」も大切です。4Hクラブは農業人として成長するキッカケに出会える、貴重な場です。

唐津・東松浦地域には上場地域の「一心会」と唐津地域の「松原会」があります。

「一心会」「松原会」の新たな仲間を **絶賛大募集中**です！

入会して共に学びましょう！

(事務局：東松浦農業振興センター)



↑松原会



一心会 →

就農5年目の堀田尚宏さんは、唐津市梨川内地区でミニトマトを39a栽培しています。実家が農家だったことから、幼い頃から農業に関わってきましたが、本格的に就農を考えたのは大学4年生の時。大学卒業後1年間、実家の農業を手伝いながらトマト栽培の基礎を学び、翌年から本格的に就農しました。就農当初は25aから始め、ミニトマト栽培の面積を拡大して意欲的に取り組まれています。

「ミニトマト栽培を通しての喜びは、自分が育てたミニトマトを美味しいと言ってもらえること。」「と語る堀田さん。「沢山の幸せが生まれる農業をしたい」という思いで、日々栽培に取り組まれています。「これからは、栽培の基礎をしっかりと抑えながら経営の更なる向上を目指したい」と展望を語られていました。

就農と同時に唐津・東松浦地区4Hクラブ（松原会）に参加し、昨年度は会長を務められました。また、現在は佐賀県農業青年クラブ連絡協議会の役員として、佐賀県の4Hクラブを引っ張っていらっしゃいます。

←そんな堀田さんから、仲間募集の告知です。

第50回 佐賀農業賞受賞者

先進的農業経営者の部

優秀賞

唐津市鎮西町 株式会社佐賀牛宮崎牧場

宮崎陽輔・舞 夫妻

宮崎陽輔・舞夫妻は鎮西町で約800頭規模の肥育牛経営をされています。

自身の経営状況を分析し、改善に取り組みながら、着実に規模拡大を進め、令和元年に法人化されました。現在も従業員の間働環境整備や更なる規模拡大・自社の知名度アップに尽力されています。また、雌牛専門肥育にこだわり、高い肉質基準を保つことで実需者からも高い評価を得ておられます。

国内外でより求められる佐賀牛生産のため、社員一丸となって取り組みたいと語る宮崎夫妻。今後も佐賀牛ブランドを育てる佐賀県のリーダーとしての活躍が期待されます。



宮崎陽輔・舞 夫妻

若い農業経営者の部

最優秀賞 及び九州農政局長賞

唐津市浜玉町

江川玄徳・紗和子 夫妻

江川夫妻は、唐津市浜玉町で施設・露地カンキツ約2.8haを経営されており、夫婦で役割分担しながら2名を周年雇用することで飛躍的に成績を伸ばされている地域期待の担い手です。

就農当初から、全国の優良産地に何度も足を運んで栽培技術を習得し実践することで、地域トップクラスにまで成長されています。

カンキツ産地として唐津を元気にしたいとの思いを掲げられており、今後の活躍が楽しみです。



江川玄徳・紗和子 夫妻

地域農業活性化の部（生産力向上部門）

優秀賞

唐津市鎮西町

石室の農業を考える会

石室の農業を考える会は鎮西町石室の40戸の農家からなり、「周りの地域を巻き込みながら農業生産を向上させ、地域農業を後代へとつなぐ」を将来のビジョンとして、勉強会の実施や他の集落での講演など、積極的に活動されています。

水稲用機械の集約や若手オペレーターの育成といった中山間地域の水田を維持するための取組や、地域ぐるみの鳥獣害対策、そのなかでも捕獲班の取組は県下全域に波及し、優良なモデルとなっています。また、近年は露地野菜の共同生産に

取り組まれており、今後も地域の核となる存在として、活躍が期待されます。



石室の農業を考える会



佐賀農業賞50周年記念式典

「佐賀農業これまでの思いと未来へのメッセージ」



記念式典の様子



平田憲市郎・志緒梨夫妻の発表



ムービー出演された市丸房光氏

これまでに唐津市、玄海町から多くのすばらしい農業者が受賞された佐賀農業賞が、今年で50周年を迎えることから、歴代の受賞者を参集した記念式典が1月26日、佐賀市のマリタール創世で開催されました。

式典では、平田憲市郎・志緒梨夫妻（唐津市、H26・R1最優秀賞）が代表して発表され、これからの農業に必要なことは「決めること。」というメッセージを伝えられました。また、これまでの農業を振り返るムービーでは、市丸房光氏（唐津市、H8最優秀賞）が出演され、「当時、みかんの価格暴落を受けて、限られた面積で所得をあげるためにイチゴ栽培を導入し、現在の米・麦・イチゴ経営を確立させた」というこれまでの歴史がムービー映像で紹介されました。

今後とも佐賀県農業の未来を変える挑戦が続くことが期待されます。

地域の農業士を紹介します！



大谷 典子 農業士
(唐津市浜玉町)



今回は、浜玉町で水稲60a、露地野菜60aを経営されている大谷典子農業士会副会長をご紹介します。

大谷さんは、結婚を機に就農され、JAから女性部の部長を経験された後、農業士となりました。特に、「農業と「食」のつながりを大事にされており、郷土料理や食の大切さなどを子どもたちに伝える「ふるさと先生」としても活動されています。

これまでに、玉島小学校や唐津南高校などで、農業と食に関する出前講座を実施されています。内容は対象者に合わせて、苦手な食べ物でも食べやすい料理にしたり、地域の農産物を使ったアレンジ料理を作ったりと、子どもたちが楽しめるよう工夫されています。

今後の目標として「農業は食であり、生きる糧なので、食育活動を通してこの大切さを若い世代に伝えていきたい」と言われています。これからも活躍が期待されます！



管内トピックス



さが園芸888運動



←アスパラガス・中玉トマト栽培
やってみようセミナー
申込フォーム

**「アスパラガス・中玉トマト
栽培やってみようセミナー」
を開催します！**

令和6年3月3日(日)13時から、J A
からつ中央営農センターにおいて「アスパ
ラガス・中玉トマト栽培やってみようセミ
ナー」を開催します。アスパラガスと中玉
トマトの栽培方法や経営概要、就農支援策
の紹介の他、圃場での収穫体験や先輩農家
との意見交換等もを行います。唐津市内や玄
海町内で新規就農を希望する方、興味があ
る方が対象です。事前予約制で、2月26日
(月)が応募々切となっています。ぜひ意
欲ある方の応募をお待ちしています。

**ICT技術を活用した
鳥獣害対策の実証に
取り組みんでいます**

有害鳥獣(主にイノシシ)から農作物を守る
ための対策として、加害個体の捕獲が重要
となりますが、各地域において高齢化による
捕獲従事者の減少が問題となっています。
そこで、鎮西町石室地区において、捕獲効
率の向上、捕獲従事者の負担軽減を図る手段
のひとつとしてICT技術の実証を行ってい
ます。赤外線を用いた「アニマルセンサー」
を導入することで体高を判別し、自動的に農
を作動させることで成獣捕獲率の向上が期待
できます。また、GPSを利用した「ほかパ
ト」を使用することで作動した箱わなの位置
情報がメールで通知されるため、わな確認の
労力軽減につながります。



左：アニマルセンサー、右：ほかパト

**サツマイモの生産に
取り組みませんか**

佐賀県でサツマイモと言えばここ東松浦！
振興センターでは、今年度からサツマイモ
(カンショ)の生産拡大に向けた取り組みを始
めました。まだまだ熱いサツマイモブームと
焼酎原料用カンショ不足を追い風に栽培面積
が増えつつあります。今年度東松浦で栽培を
希望する方を対象としたセミナーや規模拡大
を目指した機械実演、病害虫対策等の研修会
を開催しました。肥料が少なく、栽培中は手
がかからないサツマイモ栽培。私もやってみ
たい！と思われた方は振興センター・JAま
でお問い合わせください。



サツマイモ収穫機械実演の様子